

内閣総理大臣

安倍晋三様

## 要請書

- 1 原子力政策
- 2 北陸新幹線の早期完成

平成25年1月

福井県

# 原子力政策

エネルギー政策は、国民生活の安定、産業の発展、国家の安全保障に直接関わる重要事項である。国は、この原子力発電の意義を確認し、現実を直視して長期的なエネルギーバランスを検討する必要がある。

また、国民の安全・安心を確保するため、国は、十分な科学的根拠に立って、原子力発電所の運転と安全対策を進める必要がある。

このため、以下の事項の実現について要望する。

- 1 「2030年代原発稼働ゼロ」については、国民の納得と理解を得る形で抜本的に見直すこと。
- 2 福島原発事故から既に2年近くが経過しており、原発の安全確保対策を急ぎ、国民の不安をなくすこと。
- 3 核燃料サイクル、使用済み核燃料の中間貯蔵と最終処分、原発の廃炉と新型炉の新設などの課題については、早期に今後の目処をつけること。
- 4 「もんじゅ」など将来にわたるエネルギー政策に不可欠な科学技術に関しては、予算・人員を一層強化し、これまでの実績とノウハウを持つ福井において展開を図ること。
- 5 原発立地地域の経済雇用を維持するため、万全の対策を講じるとともに、地域経済が自立的に発展できるよう、新たな産業の創出を支援すること。

## 北陸新幹線の早期完成

これまでの我が国における経済の効率性のみを重視した太平洋側への重点投資は、人口と企業の過度の集中を招き、地域格差と国土構造の脆弱性をもたらした。

今後は、こうした構造を是正し、災害に強い国土づくりの観点から、太平洋側と日本海側が相互に支え合う仕組みを実現しなければならない。

北陸新幹線は、複軸型の国土構造の核となる重要な路線であり、災害対応はもとより、経済成長の実現の観点から、国土強靱化に向けた国家プロジェクトとして、優先して整備すべきである。

このため、次の事項を確実に実現するよう要望する。

- 1 金沢止まりのままでは強靱な国土づくりの効果は生まれない。敦賀開業が金沢開業から10年以上遅れることは大きな格差が生じる。遅れた年数を取り戻すよう、早期の敦賀開業を実現すること。
- 2 早期の工事発注を進め、県内事業者の受注機会の確保・増大を図ること。
- 3 大阪までのフル規格による全線整備を実現すること。
- 4 敦賀以西ルートについて、所要の調査を速やかに進め、その結果を公表するとともに、関係府県の意見を聞いた上で、ルートを決定すること。